

兵庫ラン展審査員日記

審査日 平成16年3月3日

会場 兵庫県フラワーセンター

文・Y記

このたびの審査日である3月3日は私の誕生日なんです。30歳のときにフラワーセンターで1鉢のカトレヤを買ってからラン栽培が始まり、早くも17年になりました。

始めた頃は、フラワーセンターの鑑賞温室へ毎月のように見学に行き、夢中になって蘭を見ていました。その後、ラン担当が小山さんに代わってからは、栽培温室の方まで出入りして、ラン談義をしていた頃が懐かしく、この兵庫ラン展が継続していることに感謝しながら、審査に出かけました。

幻となった県知事賞候補株
前日の搬入日に、「県知事賞候補株」と思っていた角谷さんの出品が見当たらないことにフト気がついて、「これはいけない、当会からトップが取れない」と危機感を感じた私は、早速メールを入れて打診したところ、「出張があつて見合わせた」との連絡がありました。そこで、審査当日、既に搬入は締切っていたのですが、小山さんに「あと2鉢追加」の無理を言ってから角谷家へ直行。奥さんに事情説明の上、出品を承諾しても

らいました。しかし、いざ該当株を出してきたら花が「あつちむいてほしい」状態だったので、早速リフォームに取りかかりました。TVでおなじみの「大改造！劇的ビフォーアフター」のごとく「仕立ての魔術師・ヨ○ヤ○」が手掛ければ『なんとやうことでしょう、あんなにバラバラだった花が行儀よく・・・』と匠のわざを発揮するつもりだったんですけどねえ。自由奔放に育っている株は、そう簡単に言うこと聞かないことがつくづくわかった次第です。

審査風景
12時に会議室へ集合と言うことで、



審査風景、後姿の真ん中は守本さん

各愛好会より神戸蘭友会から守本さんも含めた4名と県園芸施設関係者3名を交えて昼食をしながら顔合わせ。13時より審査に移り、まずは第1次候補の株約50点の選出から始まりました。

私なりに全体を見て感じたのは、デンドロとカトレヤ原種が多くなつたと感じ、秀でた株は見当たらないものの、カトレヤ交配種が安定して良株がそろっていると思っていました。また、以前だったら当会会員株



評判良かった西海さんのデンドロ

の出品は、仕立てがきれいなのですぐにわかりましたが、今回はどの株もきれいに整形しているので、判別できず、「それが難点？」でした。厳しいことにカトレヤ交配種から選出されるのは7点のみで、期待の角谷さんの株は雲行き怪しく、悶々としていました。最後に持込んだことを、姫路ラン会の松尾さんに見ていたので、推薦すれば出来試合にとられるので、うかつなことできず、実際のところ苦しかったです。

まあ、こうなれば多分デンドロからトップが出るだろうと推測し、方針変更。今、腰痛で唸っている西海さんの株はどれかいいと検討つけましたが、これまた、他の人も上手になつていて甲乙つけがたく、それでもパープレウムアルバは審査員全員から評判よく、引き立っていました。

その他の属グループでは、Nさんのお株を奪うシヨーンバキアも出ており、私はつきり永井さんとばかり思つて投票してりましたが、赤の他人さんでして、今年は、影が薄かつたですね。

最終日の感想
午後3時から表彰式があり、その前に展示会場に到着しましたが、あまり見学者もおらず、落選した私はこれ幸いと写真撮影をしていました。しかし、同様の会員もいまして松下さんも一緒でした。普段は強気の2人ですが、一抹の寂しさを感じたのも事実です。今度から4時ごろに着するのが無難ですね。

表彰式終了後、しっかりと2つ受賞された宇仁さんと出会いました。最近では年に1回フラワーセンターに顔を出すだけで、すっかり当会

「七夕会員」になつておられますが、ここぞとばかり私の年会費請求の猛攻撃にタジタジでした。

私は、このラン展ではみやげの蘭を買うのが楽しみでして、まずは搬入日に販売前の超大輪のカトレヤをゲット。最終日には姫路オーキッドで「高い、高い」とボヤキながらも4つほど買つてしまいました。審査に行つたのか買い付けが目的だったのか疑問にも思われましようが、沢山買つとランの知識も豊富になるし、花もよくなるのです。最近ヘリクツが得意になりまして、栽培に関する知識がどうも伴わないようで、ちよつと説得力に欠けますね。来年こそは、上位受賞で見返してやるつもりも思っているんですけどね。

まあ、いつのことやら・・・。終り



左上、宇仁さんのアングレカム。右上守本さんカトレヤ
左下、浜口さんプレウロ、右下、北瀬さんのパフィオ